

第4学年 道徳学習指導案

平成20年7月9日(水)2校時
場所 4年4組教室

- 1 主 題 名 互いに認め合う心 2 - (3) 信頼・友情
資料：「カメの反省」さなともこ
『ファンタジーの宝石箱 vo.1 人魚の鱗』所収
- 2 ね ら い 一輪の花を差し出したカメと受け取るウサギの気持ちを話し合うことを通して、自他のよさを認め合うことのよさを感じ取り、友達と互いに高め合って生活しようとする態度を養う。
- 3 準 備 場面絵 ワークシート 短冊黒板
- 4 学習の展開

学習活動・内容	予想される児童の反応	教師の支援
1 イソップ寓話「ウサギとカメ」を聞き、感想を発表する。(10) ・資料への関心	カメは根気強かったからうぬぼれウサギに勝った。でも、ウサギを起こさなかったのはどうなんだろう	資料の一部を併せて紹介し、カメの後悔に共感させるとともに、続き話に興味をもたせる。
----- 友達(カメとウサギ)についての考えを深めよう。 -----		
2 読み物資料を聞き、話し合う。(20) 場面の状況 ・再競走の経緯と状況 ・一輪の花を渡すカメ ・喜んでもらうウサギ カメの気持ち ・自分のよさ ・相手の勝ちを祝福 ウサギの気持ち ・友達を心配する気持ち 互いを認め合うこと	カメもウサギも再競走したいと思ってたんだね。カメが摘んだ花をウサギは喜んで受け取ったよ。カメはウサギの勝ちを祝うために花を渡したんだ。自分のよさは「あわてず、あせらず、…」だものね。ウサギもカメが無事か心配して待ち続けたんだね。互いに相手(友達)のことを認めたらんだね。	話し合い活性化へ向け、 ・ゴール場面 ・二人の対比 ・自他の考えの異同 に着目させた発問や問いかけを行い、板書上で明確にする。(視点1)発表の続きをみんなで考え合ったり、友達の考えを代わりに発表させたりして、話し合うよさを感じ取らせる。
3 読み物の最後を聞き、話し合う。(10) ・互いを認め合うよさ ・自他のよさともものさし	私のよさはどんなところで分かってもらえるかな。自分やみんなのよさを見付けるっていいことだな。	「すごーい！」と言った二人の気持ちに着目させ、自他を認め合うよさに気付かせる。
4 教師の話を読み、授業の感想を発表する。(5) ・気持ちの高まり ・友達の学びのよさ	友達のいいところを見付けられそうな気がするよ。私は さん発表で勉強が進んだと思ったよ。	事例から誰でも見付けられることに気付かせる。友達のよさを想起させ、受容的態度を高める。